

## 第2回親子交流広場「カプラで遊ぼう！」

2016年10月16日、本学記念館3階多目的ホールにて、カプラを使って遊びました。会場には段ボールおもちゃの「いろはこ」も用意して、より小さなお子様にも楽しんでいただけるようにしていました。人が入れる「かまくら」や、もう少しで天井に届きそうなタワーを作ったり、最後にドミノ倒しをしたりしました。

カプラとは、オランダ人のトム・ブリューゲンさんが考案した、フランスの海岸松から作られた木製ブロックです。発達に合った遊びができる上に、一人でも大勢でも楽しめます。大きな作品づくりでは自然と協力して活動するので、子どもたちや保護者の方々が学生たちと自然に言葉を交わしながら楽しむ姿が見られました。



お馬さん作ったよ！



かまくらの中に入ったよ～



お姉さんと一緒に。  
どこまで高くなるかな！



お父さんガンバレ！

### 参加した方のご感想：

- ・子どもがイキイキと楽しく遊んでいました。「お姉さんと遊びたい」と言っていました。
- ・学生さんたちが子どもに対してとても丁寧に対応してくれてよかった。

### 学生スタッフの感想：

- ・子どもたちのことも理解し、保護者の方と「もっとこうしたほうがいい」「ここすごいですね」と言った事を交えた会話をするととても楽しい。
- ・子どもたちと何かを作る楽しさや達成感を味わうことができるところが良いと思った。親子で触れ合う大切さもよく分かった。